

## ■科目の基本情報

・科目番号	01EG125・126・127
・授業科目名	感性認知脳科学総合演習A・B・C
・授業形態	2(演習)
・標準履修年次	1・2年次
・開設学期	01EG125・127:春学期,01EG126:秋学期
・曜時限等	随時
・教室	
・単位数	各1

## ■担当教員等

・担当教員名	増田知之, 高橋阿貴, 水挽貴至, 山田洋, 佐々木哲也, 國松淳, 松本正幸
・ティーチングフェロー(TF)	N/A
・ティーチングアシスタント(TA)	N/A
・オフィスアワー等(連絡先含む)	増田知之 総合研究棟D419号室 平日9:00~17:00 TEL: 2962

## ■受講によって得られる知識・能力等

### ・教育目標との関連

人間の感性とこころを脳機能と関連づけようとする基礎研究は、極めて学際性の高い研究領域である。自身の専門分野の研究だけでなく、周辺領域の基礎研究も理解し、領域横断的な研究活動を実施することは、本専攻の教育目標と合致する。

### ・授業の到達目標 (Aim of Course)

自身の専門の周辺領域の基礎研究を理解し、領域横断的な研究活動を実践する。

## ■授業内容等

### ・授業概要 (Course Description)

他分野の学生同士で班を組み、協働で研究テーマを設定し、その実施と成果発表を行う。以上の過程を通して、感性認知脳科学の各専門分野の研究手法と考え方を理解するとともに、領域横断的な応用方法を学ぶ。

### ・キーワード

感性情報学, 感性デザイン学, 感性人間工学, 比較認知科学, 行動神経科学, 精神機能障害学, システム脳科学, 神経分子機能学, 脳型情報処理機構学

### ・授業計画 (Time Table)

Aでは、班での協働作業を通じて研究テーマを設定し、設定した研究テーマについての発表を行う。Bでは、Aで設定した研究テーマの実施を行う。Cでは、Bで実施した研究活動の成果を発表し、研究報告書としてまとめる作業を行う。

・履修条件 (Prerequisite)

班員との協働作業, 研究成果の発表, 研究成果をまとめる作業に意欲的に取り組めること.

■成績評価方法

・評価方法

班員との協働作業への参加状況, 研究発表および研究成果の内容.

・割合

班員との協働作業への参加状況, 研究発表および研究成果の内容を総合的に評価する.

・評価基準

他分野の学生と協働して, 研究テーマを設定し, 実施することができるのか. 得られた結果を報告書もしくは原著論文として適切にまとめることができるのか.

■受講するにあたって

・教材・参考文献, 配布資料等(Reading Materials)

当日に資料を配布する.

・授業外における学習方法

班単位で集まり討論を重ねることで, 研究テーマを決定し, 必要な実験およびアンケートを行う.

・受講生に望むこと(Recommended Background)

班員と協力して積極的に取り組むこと.

---

・欠席の場合の措置について

特に無し.

・備考

平成27年度以降入学者のみ履修可.